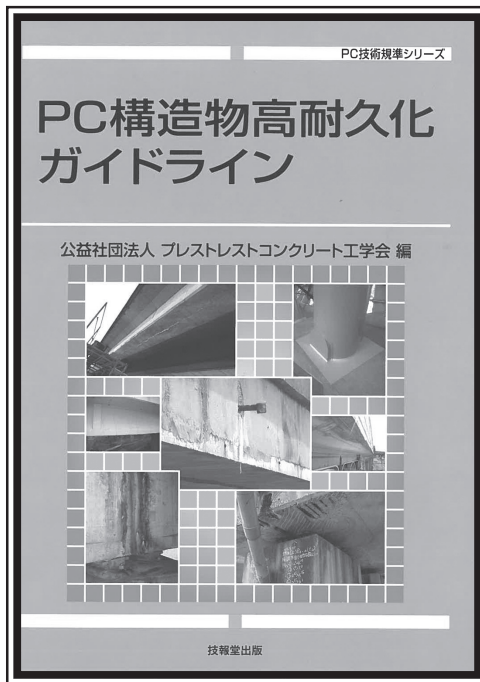




## 書籍紹介

書籍紹介のコーナーでは、プレストレストコンクリートという専門分野にとらわれず、会員にとって有用な情報が得られる書籍を幅広い観点から集めて紹介します。

### PC 構造物高耐久化ガイドライン



**著者：**(公社) プレストレストコンクリート工学会

**発売：**技報堂出版

**版型：**B5 判

**頁数：**170 頁

**価格：**¥4,500 (税抜き)

本書は PC (プレストレストコンクリート) 構造物を対象に、高耐久化を実現するうえで必要な計画・設計・施工上の配慮事項と、標準的な維持管理手法を示したガイドラインである。昨今の社会資本の老朽化に端を発して構造物の維持管理に対して社会的にも大きな関心が向けられているが、プレストレストコンクリート工学会ではすでに 2000 年に PC 橋の耐久性向上マニュアルを発刊し、いち早くこれらの問題に対応してきた。し

かし発刊から 15 年が経過しているため、本書はその間の PC 技術の著しい進歩を考慮して前掲書を改定するかたちで発刊されたものである。

本書では、構造物の高耐久化の戦略は「計画・設計」段階からの対応が重要であるという考えに基づき、第 1 章総則、第 2 章では高耐久化に向けた基本原則として、計画・調査段階に関する記述をまとめている。また、第 3 章では新設する PC 構造物を高耐久化するための方策について、設計・施工・材料と多面的な視点で記述されており、とくに近年飛躍的に施工実績が増加した複合構造物に関しても言及している。さらに、第 4 章では既存の PC 構造物の点検、劣化機構の推定、劣化予測と性能評価および対策について記述されている。とくに、補修・補強に関しては具体的な記述が多く、各種工法の詳細な説明に加えて、【勘所】の項目で工法採用にあたり留意する事項が詳細に示されている点で、実務での有用性に配慮されたものとなっている。

全体を通して、いたずらに耐久性を向上させるのではなく、構造物の置かれる環境や条件、コストなどを検討して、構造物にとって適正な耐久性を決定することが基本となっている。また、ガイドラインとしての本書は、「コンクリート構造設計施工規準 -性能創造型設計-」を上位規準とし、PC 工学会から発刊されている各種構造形式に関する規準に対しては本書が上位に位置づけられており、PC 構造物の耐久性向上に向けた共通する考え方を示すことから、さまざまな段階で PC 構造物に携わる各技術者にとって有益な内容となっている。